【長野県】

長野県更級農業高等学校
野菜クラブ

高校生ボランティア・アワード2023

「地域をつなぐ小森ナス普及の拠点づくりを目指して」

私たちの学校がある地区には、小森茄子という伝統野菜があります。小森ナスの特徴は、他のナスとは異なり、巾着型で茎や葉やヘタに大きく鋭い棘があります。果肉が厚いため、加熱料理（おやき・天ぷら）に向いています。

最前期には、120軒ほどあった小森ナスの栽培農家は現在、1軒となりました。2020年に地域住民より、小森茄子の存続について危機感を感じ、保存継承を目的とした種子採取を本校で行って欲しいとの依頼があり、この活動がスタートしました。

私たちは、長野県と連携し3年間かけて、小森ナスの生産者と購入者を増やし小森茄子の生産維持・向上を図ることを実践しています。

【クラブ紹介】

私たち野菜クラブは、3年生21名、2年生21名活動しています。

農業高校生という魅力を最大限に生かし、地域課題を農業の視点から解決することを目標に日々活動をしています。

「3年計画で小森ナス復活！」

1年目(2022年度)・・・小森ナスの魅力を発信し、生産者の増加を促す
小森ナス栽培指標の作成(長野農業農村支援センター指導）

2年目(2023年度)・・・小森ナス生産希望者に対し、播種～栽培方法について伝授する
小森ナス取引先の発掘
信州伝統野菜の認定への準備

3年目(2024年度)・・・小森ナス取引先の発掘と固定(2年目からアプローチ開始)
新規生産者10軒確保
信州伝統野菜の認定

【活動の成果】

信濃毎日新聞協力のもと、生産希望者を募りました。多数の応募がありましたが、信州伝統野菜の認定に向けてグループに加入し栽培が可能な方32名で栽培をスタートしました。小森ナスの苗は、本校で栽培農家の方と一緒に生産しました。また、小森ナス試食会の開催することで、取り扱い希望者の確保や販路の拡大に一歩近づけました。今後は、こだわりのある生産者と取り扱い店をつなぐことと小学生や中学生に伝統野菜の小森ナスを知ってもらう啓発活動を行うこと、信州伝統野菜に認定されることを目標に活動を継続させていきます。

「信州伝統野菜認定を目指して」

現在、小森茄子は、信州伝統野菜に選定されています。選定とは、ただ選ばれているということです。私たちが、目指している認定とは、伝統野菜として認めてもらうことです。

「選定」と「認定」の違いは？

認定されると、1つ目に認定マークが使えます。2つ目に情報交換ができます。3つ目に県から有力な情報が届きます。認定を受けると「認定マーク」を表示して出荷・販売することができます。このマークは、信州の伝統を守り食文化を継承していこうという生産者の思いが詰まっています。